

女子中高生×女性管理職交流促進事業【富山県】

個別事業費	970 千円
交付金額	485 千円

地域の実情と課題

本県の年齢別社会動態の特徴は、若者世代(15～34歳)の転出超過となっており、特に、20～24歳の女性の転出超過(△774人(R3))が顕著となっていることが課題となっている。

目的・目標

項目	現状	R8(目標)
20～24歳の女性の転出超過人数	△774人(R3)	減少

事業の特徴

県内中高生と県内企業の女性管理職等による座談会を実施し、身近なロールモデルとの交流を通して進学・就学前に自身のライフプランや将来のキャリアについて考える機会を提供することで、職業生活におけるキャリア形成について早い段階からの意識付けを図り、県内就職の視野を持っていただく。

連携団体

参加生徒の募集にあたっては、市町村をはじめ教育委員会や、校長会、マスコミ等に等と連携し、幅広く周知した。

事業の効果

参加した中高生のアンケートでは、98%が本交流会をが将来のキャリアを意識するきっかけになったと回答があった。また、参加した中高生からは、「思っていた以上に色々な分野で活躍できる企業があることを知った」や「県外への進学、就職を考えていたが、富山の良いところをもっと確認してみたくなった」などの意見があり、県内就職の視野を持っていただくことに寄与した。

今後の課題

今後も市町村をはじめ、教育委員会や校長会などのご協力いただきながら、より多くの県内中高生に県内企業の魅力を伝え、県内就職を視野に持っていただくための効果的な方法・事業内容を検討していく。

事業の概要

中高生にライフプランやキャリア形成について考え、県内就職の視野を持っていただくため、中高生と県内企業の女性社員との交流会を開催

日時: 令和5年8月21日(月) 午前・午後各1回開催

場所: コワーキングスペース hiraku(富山市内)

参加者: 県内在住の中高生 計44名

県内企業10社

参加者の意見

■ 中高生

- ・思っていた以上に色々な分野で活躍できる企業があることを知った。
- ・ライフイベント(結婚、出産、子育て)のことも考えて県外就職か、県内就職か考えないといけないと思った。
- ・参加された社会人の方々が楽しそうに意欲的に仕事をされているので富山での就職も考えてみたい。
- ・県外への進学、就職を考えていたが、富山の良いところをもっと確認してみたくなった。

■ 企業

- ・中高生がどのような過程で将来を決めていくのか、どこから情報を取るのか生の声を聞いて良かった。
- ・今後の採用活動や会社のPRに活かしたい。

